

総合安全保障研究科前期課程第20期学生 選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

- 問1 国際核不拡散体制における核兵器国と非核兵器国の間の権利義務関係の不平等性について述べられたい。
- 問2 「安全保障のジレンマ」とは何かを説明した上で、その緩和のためにどのような試みが実践されてきたか具体例を挙げながら論じなさい。

国際政治史

次の2問に答えよ。

- 問1 冷戦期における代表的なデタントとして、1975年CSCEヘルシンキ最終議定書を頂点とした70年代デタントがあげられる。このデタントをもたらした米国、ソ連、西欧諸国それぞれの立場、思惑について、論じなさい。（なお、西欧諸国については代表的な国をとりあげてもよいし、西欧として概括的に扱ってもよい）。
- 問2 1980年代末から1990年代初頭にかけて、北東アジア諸国がどのように国際環境に対応したか論じなさい。

公共経済学

次の2問に答えよ。

- 問1 資源配分の効率性を確保するために、政府の果たし得る役割について説明しなさい。
- 問2 世界的な金融危機が発生した場合に、各国中央銀行に期待される金融政策の具体的な手段について説明しなさい。

憲 法

次の2問に答えよ。

- 問1 砂川事件最高裁判決を根拠として、現行の日本国憲法第9条の下でも集団的自衛権を限定的に行使できると主張する説があるが、この説には批判も多い。①砂川事件最高裁判決をどのように解釈すれば集団的自衛権行使を合憲と理解することができるのか。②これに対して違憲説はどのように合憲説の論拠を否定するのか、説明しなさい。
- 問2 日本国憲法における違憲審査制の特徴を解説したうえで、いかなる場合に安全保障立法が裁判所の違憲審査の対象となるかを憲法解釈論の観点から論じなさい。

国 際 法

次の2問に答えよ。

- 問1 外交的保護権とは何か。同権利を行使するための要件、および同権利が果たす国際法上の役割を中心に論ぜよ。
- 問2 「国際人道法は、軍事的必要性和人道的考慮のバランスの上に成立している。」といわれているが、どういうことか、説明せよ。

組織管理論

次の2問に答えよ。

- 問1 20世紀初頭から現代までの組織管理論に関する主要な理論・学説について、時代順に、体系的に整理して論述しなさい。
それぞれの理論・学説の間の関連性についても言及し、平易な文章で論理的に述べることを。
- 問2 分業における長所と短所について、それぞれ2つ以上、具体例を挙げながら説明しなさい。さらに、短所については、それらを克服するための自分なりの案を学説や理論・概念に依拠しながらそれぞれ提示しなさい。

行 政 学

次の2問に答えよ。

問1 大統領制の下での行政と議院内閣制の下での行政について、それぞれの特徴について比較しつつ、説明しなさい。

問2 アメリカにおける行政学の展開を念頭に、「政治・行政二分論」と「政治・行政融合論」について、それぞれがどのようなものであるのか、代表的な学者の主張を紹介しつつ、説明しなさい。